

報道関係各位

平成24年4月20日

「漁業の厄介者ヒトデを丸ごと活用」

道総研ではヒトデを資源として活用する3つの方法を開発しました。



北海道で駆除されるヒトデは年間 15,000 トン。そのほとんどは費用をかけて焼却や埋め立て処理されています。道総研ではヒトデ処理の研究に集中的に取り組み、薬品や化粧品、健康食品に使える有効成分の抽出、水槽のろ過材としての利用など、これまで廃棄するしかなかったヒトデを資源として有効に活用する方法を開発しました。

1 研究成果

(1) 肌を保湿する化粧品

ヒトデからセラミド成分を抽出する方法を開発し、食品素材の試作・開発に取り組みました。セラミド成分は化粧品の原料素材として注目されています。【食品加工研究センター 佐々木 茂文】

(2) ペットの健康食

ヒトデから有効成分としてコラーゲンペプチド、サポニン、骨片を取り出し利用する処理システムを開発しました。特にコラーゲンペプチドを用いて血糖値調整機能があるペット用健康食品を商品化しています。

【釧路水産試験場 麻生 慎吾】

(3) 観賞用魚水槽の水質浄化材

ヒトデの骨は無数の微細な穴があいた石灰質でできています。この特性を利用し、成型方法を検討することで観賞用魚水槽の水質浄化材を開発しました。【工業試験場 三津橋 浩行】

2 発表会の概要

成果を3回の発表会で合同発表します

(1) 食品加工研究センター平成24年研究成果発表会

日時：平成24年4月25日（水）13:30～17:00

会場：ホテル札幌ガーデンパレス2階（札幌市中央区北1条西6丁目）

(2) 技術移転フォーラム2012「工業試験場」成果発表会

日時：平成24年5月24日（木）11:00～17:15

会場：ホテル札幌ガーデンパレス2階（札幌市中央区北1条西6丁目）

(3) 水産試験場研究成果発表会

日時：平成24年8月予定

詳しくはこちらへお問い合わせください。

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 広報チーム

担当：森安 悟

住所 〒060-0819 北海道札幌市北区北19条西11丁目（工業試験場内）

電話 011-747-2900（平日9:00～17:30 土・日・祝日・年末年始はお休みです）

Fax 011-747-0211

E-mail hq-entry@hro.or.jp URL <http://www.hro.or.jp>

●本成果や成果発表会開催の報道及び当日の取材に関し、特段の御配慮をお願いします。

※講演者へ直接取材を希望される方は、日程等を調整しますので、広報チームまで御連絡ください。